

障害者保健福祉に関するアンケートご協力をお願い

日頃より、仙台市の市政運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市におきましては、平成 23 年度に、次期「仙台市障害者保健福祉計画」及び第 3 期「仙台市障害福祉計画」を策定することとしております。

計画の策定にあたり、障害者保健福祉に関して、市民の皆様のご意見をお伺いすることができればと考え、市内在住の 20 歳以上の 1,000 名の方々を無作為に選ばせていただき、このアンケートを送付させていただきました。

つきましては、お忙しい中とは思いますが、ぜひアンケートにご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

なお、お送りいただいたアンケートの結果につきましては、本市の障害者施策の基礎資料として活用する以外には使用いたしません。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけるようお願いいたします。

平成 22 年 12 月

仙 台 市

◆ご記入に際してのお願い◆

- 1 このアンケートは、あて名のご本人がご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる項目の番号に○をつけてください。
- 3 回答は、質問項目によって「1つだけ」「3つまで」のように、○のつけ方が決まっていますので、ご注意ください。
- 4 回答は、平成 22 年 12 月 1 日現在の状況をご記入ください。
- 5 回答したくない質問には、○をつけなくてもかまいません。
- 6 住所や氏名の記入は必要ありません。
- 7 ご記入いただいたアンケートは、お手数ですが、**12月27日(月)**までに同封の返信用封筒によりご返送ください。(切手は必要ありません)
- 8 この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【仙台市健康福祉局障害企画課 電 話：022-214-8163

FAX：022-223-3573】

1. あなたのお住まいの区はどこですか（1つだけ○）。

1 青葉区	2 宮城野区	3 若林区	4 太白区	5 泉区
-------	--------	-------	-------	------

2. あなたの年齢は何歳ですか（数字を記入）。

歳	（平成22年12月1日現在）
---	----------------

3. あなたの性別は男、女のどちらですか（1つだけ○）。

1 男	2 女
-----	-----

4. あなたは「福祉」に関心がありますか（1つだけ○）。

1 大変関心がある	2 関心がある
3 あまり関心がない	4 関心がない

5. 障害には、以下のような区別があることを知っていましたか（それぞれに1つだけ○）。

身体障害	1 知っている	2 知らない
知的障害	1 知っている	2 知らない
精神障害	1 知っている	2 知らない
発達障害	1 知っている	2 知らない
高次脳機能障害	1 知っている	2 知らない
難病	1 知っている	2 知らない

6. 以下の3種類の障害者手帳があることを知っていましたか（それぞれに1つだけ○）。

身体障害者手帳	1 知っている	2 知らない
療育手帳	1 知っている	2 知らない
精神障害者保健福祉手帳	1 知っている	2 知らない

7. あなたの身近に障害のある方がいますか（いましたか）。また、それはどのような場面ですか（でしたか）（あてはまるものすべてに○）。

1 自分自身または家族等身近な親族	2 自分の職場
3 仕事関係（自分の職場以外）	4 町内会
5 趣味等の活動	6 よく利用する商店
7 身近にいたことはない	8 その他（ ）
9 わからない	

8. あなたは、障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がありますか。（1つだけ○）。

1 ある	2 ない（9の質問にお答えください）
------	--------------------

9. 8において「2 ない」を選択した方におたずねします。

そのようなことがないのはなぜですか（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|----|---|
| 1 | そのような機会がなかったから |
| 2 | おせっかいになるような気がしたから |
| 3 | 障害のある人とのコミュニケーションの方法がわからなかったから |
| 4 | 専門家や関係者に任せた方がよいと思ったから |
| 5 | 自分が何を求められているかわからなかったから |
| 6 | 関わるのが面倒だったから |
| 7 | 自分にとって負担になると思ったから |
| 8 | その他（ ） |
| 9 | 特にない |
| 10 | わからない |

10. 街の中で何か困っている障害のある方に出会ったときどうしますか（**1つだけ**○）。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| 1 | 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う | 2 | 声をかけられたら手伝う |
| 3 | 他の人が何か手伝えば自分も手伝う | 4 | 手伝いたい気持ちはあるが勇気が出せない |
| 5 | 責任が持てないので関わらないようにする | 6 | 相手の態度による |
| 7 | 声をかけられないように逃げてしまう | 8 | その時になってみないとわからない |
| 9 | その他（ ） | | |

11. 「共生社会」とは、障害の有無に関わりなく、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう社会のことです。あなたは、この「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような社会のあり方についてどのように考えますか（**1つだけ**○）。

- | | | | |
|---|------------------|---|------------------|
| 1 | 聞いたことがあります、賛同できる | 2 | 聞いたことはあるが、賛同できない |
| 3 | 聞いたことはないが、賛同できる | 4 | 聞いたことはなく、賛同もできない |
| 5 | わからない | | |

12. 以下にあげる言葉について知っていますか（あてはまるものすべてに○）。

- | | | | |
|----|------------|----|---------------|
| 1 | ノーマライゼーション | 2 | リハビリテーション |
| 3 | 完全参加と平等 | 4 | バリアフリー |
| 5 | ユニバーサルデザイン | 6 | インクルージョン |
| 7 | 特別支援教育 | 8 | 障害者週間 |
| 9 | 国連・障害者の十年 | 10 | 国際障害者年（1981年） |
| 11 | 知っているものはない | | |

13. 以下にあげる国や仙台市等で行っている障害のある方に関する行事や催し物について知っていますか（あてはまるものすべてに○）。

1 全国障害者スポーツ大会	2 パラリンピック
3 とっておきの音楽祭	4 アビリンピック
5 「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」	
6 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	7 スペシャルオリンピックス
8 福祉まつり ウェルフェア	9 知っているものはない

14. 以下にあげる国や仙台市等で行っている障害のある方に関する行事や催し物のうち、今後、機会があれば、見に行ったり、参加したいものはありますか（あてはまるものすべてに○）。

1 全国障害者スポーツ大会	2 パラリンピック
3 とっておきの音楽祭	4 アビリンピック
5 「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」	
6 宮城県・仙台市障害者スポーツ大会	7 スペシャルオリンピックス
8 福祉まつり ウェルフェア	9 特になし

15. あなたの障害のある方に対するイメージは下記のうちどれにあてはまりますか（3つまで○）。

1 前向きに生きているのを見て励まされる	2 一生懸命がんばっていると思う
3 大変だなあと思う	4 かわいそうだなあと思う
5 普通の人だと思う	6 なんとなく怖いと思う
7 自分には関係ないことだと思う	8 いろんな人がいるので一概にはいえない
9 あまり関わりたくないと思う	10 考えたことがない
11 わからない	12 その他（ ）

16. あなたは、障害のある方が施設や病院から退所・退院し、グループホームやアパート・借家等を利用して、地域で生活することについてどうお考えですか（1つだけ○）。

1 大いに賛成	2 どちらかという賛成
3 どちらかという反対（17の質問にお答えください）	
4 大いに反対（17の質問にお答えください）	
5 わからない	

17. 16において「3 どちらかという反対」または「4 大いに反対」を選択した方におたずねします。

その理由は何ですか（カッコ内に理由をご記入ください）。

理由	（ ）
----	--------------------

18. あなたの近所の公共施設（学校の空き教室等）を、障害のある方が受けるサービスの場として活用するとしたらどう思いますか（1つだけ○）。

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1 大いに賛成 | 2 どちらかという賛成 |
| 3 どちらかという反対（19の質問にお答えください） | |
| 4 大いに反対（19の質問にお答えください） | |
| 5 わからない | |

19. 18において「3 どちらかという反対」または「4 大いに反対」を選択した方におたずねします。

その理由は何ですか（カッコ内に理由をご記入ください）。

理由	()
----	-----

20. あなたのご近所で、障害などのために困っている世帯があったらどのような対応をしたいと思いますか（1つだけ○）。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 できる限りのお手伝いをしたい | 2 多少のお手伝いをしたい |
| 3 支援を求められたときはお手伝いしたい | 4 特に何もしない |
| 5 よくわからない | 6 その他 () |

21. 障害者になる原因等はさまざまあります。

例 「交通事故に遭い歩けなくなった。」「病気（糖尿病等）により目が見えなくなった。」
「仕事のストレスにより重い精神病にかかって人間関係がうまく行かなくなった。」
あなたは、将来において、自分や家族が障害のある状態になることがありますか（1つだけ○）。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 十分あり得ると思う | 2 ある程度はあり得ると思う |
| 3 どちらともいえない | 4 あまりあり得ないと思う |
| 5 ほとんどあり得ないと思う | 6 現在自分や家族に障害がある |
| 7 わからない | |

22. もしあなたが21の事例のようになった場合、誰に相談したいと思いますか（3つまで○）。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 家族・親戚 | 2 知人・友人 |
| 3 近所の人 | 4 職場の人 |
| 5 市の相談窓口 | 6 社会福祉協議会 |
| 7 民生委員・児童委員 | 8 民間福祉団体 |
| 9 障害者福祉センター | 10 障害者相談員 |
| 11 地域包括支援センター | 12 ボランティア・NPO |
| 13 ホームヘルパー・ケアマネージャー | 14 医師・保健師・看護師 |
| 15 民間の電話相談 | 16 インターネットの相談サイト |
| 17 その他 () | 18 相談できる人がいない |

23. もしあなたや身内の方が障害児（脳性麻痺により歩けない、発達に遅れが見られるなど）を持つ親になったとき、特に困ることはどんなことだと思いますか（3つまで○）。

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1 経済的なこと | 2 住まいのこと | 3 介助などをする人のこと |
| 4 学校や教育のこと | 5 学校卒業後の進路のこと | |
| 6 その他（ | | ） |
| 7 特にないと思う | 8 わからない | |

24. 障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思われることは何ですか（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|--|---|
| 1 困っていそうな場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする | |
| 2 点字ブロックの上に物を置かない等、障害のある人のための施設や設備の利用を妨げないよう注意する | |
| 3 仕事や地域活動をする上で、障害のある人のことも考えてみる | |
| 4 障害者に関するボランティア活動に参加する | |
| 5 簡単な挨拶ができる手話等のコミュニケーション方法を身につける | |
| 6 障害疑似体験（アイマスクや車いすを使っの体験）など参加してみる | |
| 7 病気や障害のことについて理解を深める | |
| 8 その他（ | ） |
| 9 特にない | |
| 10 わからない | |

25. あなたは障害のある方に関わるボランティア活動に参加していますか（したことがありますか（1つだけ○））。

- | | |
|-----------------|------|
| 1 している（したことがある） | 2 ない |
|-----------------|------|

26. 今後、障害のある方と関わるボランティア活動へ参加したいと思いますか（1つだけ○）。

- | |
|---------------------------------|
| 1 参加したい（現在、している）（27の質問にお答えください） |
| 2 参加したくない |
| 3 わからない |

27. 26において「1 参加したい（現在、している）」を選択した方におたずねします。

あなたが今後参加したい（あるいは、現在、している）障害のある方に関わるボランティア活動は次のどれですか（あてはまるものすべてに○）。

- | | | |
|----------------------|-------------------------|---|
| 1 話し相手 | 2 外出時の付き添い | |
| 3 外出時の送迎（移送ボランティアなど） | 4 スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流 | |
| 5 家族が外出したときの託児・見守り | 6 手話通訳、要約筆記 | |
| 7 本や情報誌などの点訳や朗読 | 8 募金活動 | |
| 9 家や庭の手入れ | 10 買い物や諸手続きの代行 | |
| 11 介助者が緊急で不在のときの支援 | 12 家事の手伝い | |
| 13 地震などの災害時の連絡や支援 | 14 その他（ | ） |

28. 障害のある人に関わるボランティア活動を活発にするためにはどのようなことが必要だとお考えですか（3つまで○）。

- | | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 情報提供や相談窓口の充実 | |
| 2 | 子どものときから、学校等でボランティア学習・体験活動を行う | |
| 3 | 入門講座、障害者体験、手話・点字などの専門的講習の開催 | |
| 4 | ボランティア同士の交流の促進 | |
| 5 | 保険加入や交通費等の実費支給 | |
| 6 | ボランティアグループ、NPOなどボランタリーセクターの育成 | |
| 7 | ボランティア活動者への感謝状やマスメディアでの紹介など社会的な評価 | |
| 8 | ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備 | |
| 9 | その他（ | ） |
| 10 | わからない | |

29. 地域における住民相互の支えあいの仕組みづくりで、あなたが特に必要だと思うことはどのようなことですか（3つまで○）。

- | | | |
|----|---------------------------------------|---|
| 1 | 住民自ら進んで日頃から相互のつながりをもつように心がけること | |
| 2 | 町内会や自治会が中心となって住民相互の交流活動を積極的に進めること | |
| 3 | 仕事を持つ人、退職者が地域の活動に参加しやすい環境づくりを進めること | |
| 4 | ボランティアやNPO（民間非営利組織）団体の活動を盛んにすること | |
| 5 | 地域の人たちが気軽に集まることができる場所や機会づくり | |
| 6 | 支える人と支えられる人を調整する機関 | |
| 7 | 支えあいのきっかけとなる事業の創設と推進 | |
| 8 | 地域の課題を共有するための連絡会やネットワークの形成 | |
| 9 | 行政による地域における福祉活動の相談窓口、側面的支援の体制を充実させること | |
| 10 | 市民センター（公民館）の地域活動の機能を強化すること | |
| 11 | 高齢者や障害者など多様を認め合い支えあう意識の啓発 | |
| 12 | 行政、事業者、ボランティア・NPOと住民組織との連携 | |
| 13 | その他（ | ） |
| 14 | 特に必要と思うことはない（30の質問にお答えください） | |

30. 29において「14 特に必要と思うことはない」を選択した方におたずねします。
その理由は何ですか（1つだけ○）。

- | | | |
|---|----------------------------|---|
| 1 | 地域社会の課題は、行政が全面的に対応すべきであるから | |
| 2 | 他人との関わりをもたなくても生活が可能だから | |
| 3 | 個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから | |
| 4 | 友人・知人との結びつきがあれば十分だから | |
| 5 | その他（ | ） |

31. 福祉サービスを充実させていく上で、行政と地域住民との関係について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（1つだけ○）。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない |
| 2 | 行政の手が届きにくい福祉課題については、住民が協力していくべきである |
| 3 | 福祉課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである |
| 4 | まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が支援すべきである |
| 5 | その他（ ） |
| 6 | わからない |

32. 障害を理由とした差別、無視やいやがらせなどを見たことがありますか（1つだけ○）。

- | | | | | | |
|---|-------------------|---|----|---|-------|
| 1 | ある（33の質問にお答えください） | 2 | ない | 3 | わからない |
|---|-------------------|---|----|---|-------|

33. 32において「1 ある」を選択した方におたずねします。

それはどのような内容でしたか（あてはまるものすべてに○）。

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 周囲の視線，態度，言葉 |
| 2 | 交通機関利用時に運転手や乗客からのいやな態度 |
| 3 | 仕事での待遇の差 |
| 4 | 窓口職員の対応の悪さ，いやな顔をされる |
| 5 | 学校，職場でのいじめ |
| 6 | その他（ ） |

34. 障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。障害別と障害者全体についてお答えください（それぞれ1つだけ○）。

身体障害者への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない
知的障害者への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない
精神障害者への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない
発達障害者への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない
高次脳機能障害者への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない
難病患者への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない
障害者全体への理解	1 深まってきた	2 少し深まってきた	3 あまり深まっていない	4 深まっていない	5 わからない

35. あなたは障害のある人に対する理解を深めるためにどのような取り組みが必要だと思いますか（3つまで○）。

- 1 子どもの時から障害のある方とふれあう機会を増やす
- 2 イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通じた障害のある方と市民との交流の機会を増やす
- 3 障害のある方に対するボランティア活動を育成・支援する
- 4 テレビ・新聞等マスメディアと連携した広報活動の充実
- 5 市の広報誌で障害のある方への理解を深めるための広報を推進する
- 6 障害者団体の活動をPRする
- 7 市民対象の福祉講座や講演会を開催し、障害そのものに対する知識の啓発を図る
- 8 学校教育の中で障害に対する理解を深める
- 9 その他（ ）

36. 障害者福祉に関するご意見、ご要望などがあれば自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。